

# 一般質問通告表

平成24年第8回沖縄県議会(定例会)

12月10日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	17分	嘉陽 宗儀(共産党)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 日米安保条約について</p> <p>(1) 日米安保条約は日本の平和と安全に貢献していると考えるか。考えるのであれば、その具体的な内容を説明してください。</p> <p>(2) 米兵犯罪のたびに県民の抗議に対して「綱紀肅正・再発防止に努める」と同じ答弁を繰り返している。知事はどう考えるか所見を伺う。</p> <p>(3) 沖縄の県土に米軍基地を認めるのは、結果的には米兵犯罪に加担していることになるのではないかと。加害者にならないためには基地に反対して行動すべきと考えるが所見を伺う。</p> <p>(4) 50年以上も米軍基地の存在を押しつけている日米安保条約をなくし、対等・平等の国際関係を構築するために「平和友好条約」に改めるべきと考えるが、知事の所見を伺う。</p> <p>2 教育問題について</p> <p>(1) 全国的に「いじめ」問題が深刻になっているが、沖縄の実態はどうなっているか。</p> <p>(2) 特に刑法犯の占める割合が断トツで全国一のようなようですが、実態はどうなっていますか。</p> <p>(3) その原因について教育長の見解を伺います。</p> <p>(4) 教師の多忙化解消の具体的な取り組みはどうなっていますか。学習指導案の提出の改善、教育委員会の学校訪問指導の効果はあるのか。</p> <p>(5) 行き過ぎた「学力向上推進運動」が子供たちの学校生活をいびつなものにしていると考えますが、その見直しを進める考えはないか。</p> <p>(6) 現在、学習塾に通っている生徒の実態を把握しているか。なぜ学習塾に頼る事態になっているのか、見解を伺う。</p> <p>(7) 多忙化解消のために具体的に取り組んだ事例を説明せよ。</p> <p>(8) 教職員の評価システムが教職員の大きな精神的負担になっていると考える。見直すべき時期に来ているのではないか。</p> <p>(9) 今後の多忙化解消の具体的計画と決意を伺う。</p> <p>3 泡瀬干潟問題について</p> <p>(1) 震災対策、津波対策がないままに埋立工事はどんどん進んでいる。このままでは用地の売却ができないと考える。事業主体である沖縄市は企業に売却できなければ、県から買い上げる必要はなく沖縄市の財政負担はないと発言しているが、協定はどうなっているか。</p> <p>(2) これまで埋立用地に入っていない突堤の護岸工事を行い、現在、埋立地に含まれていない海域での「中仕切堤」工事を実施し、今後「潜堤」工事を実施予定であるが、その根拠は何か。</p> <p>(3) 埋立地域に生息している貴重種や絶滅危惧種の生き物たちの種類は幾らで、その保全策はどうなっているか。</p> <p>(4) 自然環境に配慮した工事だと強調していますが、実態はどんどん環境破壊が進行しています。環境破壊の事実を認め有効な対策をとるべきですがどうか。</p> <p>(5) 中城湾港・新港地区に立地する企業についての実態について伺う。 一般工業用地、国際物流拠点産業集積地域(旧FTZ)別に、立地する数、企業名、正規従業員数、非正規従業員数、入居年月日について</p> <p>(6) 無駄な公共工事である泡瀬埋立事業は中止せよ。決意を伺う。</p>			

#### 4 産廃問題について

- (1) 沖縄市のごみ山処理の進捗状況はどうなっているか。
- (2) その地下水から化学物質の「ヒ素」が検出されているが、その事実を掌握しているか。
- (3) 名護での最終処分場の建設は十分な住民合意は得られたか。

#### 5 高江のヘリパッド建設問題について

- (1) 現在の建設工事で自然環境が大きく破壊されています。その上に新しくオスプレイが訓練している。一層自然破壊が深刻になることは明らかです。知事はオスプレイ配備に反対する立場からも工事を中止させるべきではないか。
- (2) 高江でのオスプレイによる軍事訓練の実態はどうなっているか。

#### 6 識名トンネル工事問題について

- (1) 工法変更について、中央導坑方式から無導坑方式に変更した理由は何か。
- (2) 誰の指示で変更したのか。
- (3) 工事費の算定は(見積もり、積算価格)は幾らか。比較はどうなっているか。
- (4) 詳細図面(施工図)、無導坑方式の設計図はできていたか。それに基づく積算額は幾らか。
- (5) 中央導坑方式から無導坑方式への変更は重大な事案であるが、変更の決済は誰の責任でやったか。
- (6) 監査委員からの勧告はどう対処するつもりか。

#### 7 憲法問題について

総選挙公約で、憲法改定、国防軍も創設など、日本の戦後の民主主義を根底から覆す危険な主張がなされているが、この動きは「いつか来た道、戦争への道」につながるものである。知事の所見を伺う。

#### 8 我が党の代表質問との関連について

# 一般質問通告表

平成24年第8回沖縄県議会(定例会)

12月10日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	17分	西銘 純恵(共産党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 台風被害について</p> <p>(1) ことしは大型台風が連続したが、とりわけ被害の大きかった台風17号について、農・畜産物や住宅被害はどうだったか。県はどのような支援を行ったか。</p> <p>(2) 伊平屋村などに被災者生活再建支援法を適用した経緯と支援内容について</p> <p>(3) 政府に対して、被災者生活再建支援法の支援上限額を300万から500万に引き上げるよう求めることについて</p> <p>(4) 一括交付金は沖縄の特殊事情に適用されるものだが、台風常襲の沖縄県が独自の台風被害に対する支援制度を創設することについて</p> <p>2 教育行政について</p> <p>(1) 小、中、県立学校のクーラー設置状況はどうなっているか。亜熱帯性気候の沖縄で一括交付金を活用してクーラーを設置し、維持費に充てられるようにすることについて</p> <p>(2) 私立高校の授業料支援金は、月額9900円の倍まで低所得世帯に加算金がでている。県立高校の生徒で生活保護、ひとり親など低所得世帯に加算金を支給する制度を創設することについて</p> <p>(3) 生活保護世帯の高校、大学進学率の一般世帯との比較と推移について、所得の低い沖縄県において給付型の奨学金制度を創設することについて</p> <p>(4) 就学援助について</p> <p>ア 就学援助の支給状況について、市町村を支援して就学援助を拡充することについて</p> <p>イ 就学援助にクラブ活動費、生徒会費、PTA会費の支給が追加されたが、市町村の支給状況について、支給を促進すべきではないか。</p> <p>ウ 視力の悪い子に欠かせない眼鏡を支給している市町村はどこか。支給させることについて</p> <p>3 県の障害者雇用は、法定雇用に対して実態はどうなっているか。民間の雇用状況はどうか。法定雇用率を満たすには何人の雇用がふえるのか。達成するための県の対策を問う。また、定着のための県の対策を問う。</p> <p>4 保育行政について</p> <p>(1) 保育所増設の願いは切実です。南風原町内で認可外保育園が保護者の要請を受けて認可保育所への申請をしようとしたら、町から拒否されている事例があるが、何が障害になっているのか。県は適切な支援を行うべきではないか。</p> <p>(2) 浦添市内で、認可保育所の父母から5歳児クラスの増設要求が出て、保育所が施設を増設して市に申請をしたら認められないでいるが、県は実態調査を行い、父母の願いに応えるようにすべきではないか。</p> <p>(3) 9000人以上いる待機児童を解消するための市町村の保育所整備計画はどうなっているか。早急に解消するための整備計画が必要ではないか。</p> <p>5 学童保育について</p> <p>(1) 民間施設利用の学童クラブは何カ所あるか。うち家賃補助を受ける学童クラブは何カ所か。民間利用の全てに補助をしないのはなぜか。補助を行うことについて</p> <p>(2) ひとり親や低所得世帯の子供が学童クラブに入所できるように、県独自の補助制度をつくること。</p> <p>6 県立病院について</p>			

- (1) 県立病院検証委員会の最終検証報告は、経営改善と持続的な健全化についてどう評価しているのか。県民の医療を守るとりでとしてさらに充実させる必要があると思うが、見解を問う。
- (2) 北部地域の基幹病院として医師会病院と県立北部病院を一つにする報道がなされている。県立南部病院を廃止して南部地域の救急医療が困難となっている。北部地域の救命救急医療を崩壊させることにつながる県立北部病院の廃止はやめるべき。

#### 7 米軍基地問題について

- (1) 米国防省の2011年度の年次報告によれば、米軍の性犯罪はどのような状況か。森本防衛大臣は、グアムに行く前に沖縄に立ち寄った海軍兵による集団暴行事件を「たまたま事件を犯した」と暴言を発した。米兵犯罪は沖縄に基地があるために起こっていると思うが、見解を問う。
- (2) 県民の総意に反して強行配備されたオスプレイは、県や市町村が調査した飛行ルートや爆音、低周波音、飛行モードはどうか。一刻も早く撤去を求めるべきではないか。

#### 8 浦添新軍港建設問題について

戦後67年間も米軍基地が居座り、経済も雇用も壊されている。オスプレイ配備強行、頻発する米軍犯罪、その上、海兵隊の海外への侵略基地となる浦添新軍港の建設を認めるのか。知事は、基地のない沖縄を目指して軍港建設に反対を表明すべきではないか。

#### 9 我が党の代表質問との関連について

# 一般質問通告表

平成24年第8回沖縄県議会(定例会)

12月10日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	17分	奥平 一夫(県民ネット)	知事 関係部長等

## 質 問 要 旨

### 1 知事の政治姿勢について

#### (1) 基地問題について

- ア 「最低でも県外」と発言した鳩山氏は1年足らずで首相の座をおり、そればかりかみずから立ち上げた「民主党」を追われ政界から引退した。「基地問題はアメリカの虎の尾」の一つで、それを踏んでしまったからだと言われている。つまり、総理といえども「基地問題に言及は許さない」という米国の強いメッセージがそこにはあるという。知事の見解を伺う。
- イ 衆議院選挙が始まった。全国的な争点は原発、TPP、消費増税問題に収れんされ、オスプレイ配備や日米地位協定、普天間移設問題がほとんど報じられない。外交防衛、安全保障を声高に叫ぶ政党も沖縄基地問題には関心もないのか決して触れることはない。知事の見解を伺う。
- ウ 「政権が自民党に移行しても「県外移設」は変わらない」と発言している。「埋め立てを承認しない」という意思表示と捉えてよいか。
- エ 高江集落におけるヘリパッド建設で自然環境や周辺住民生活にどのような影響があり、安心な暮らしの担保はあると考えているのか。

- (2) 尖閣諸島領有権問題をめぐって日中関係は悪化するばかり。事態が長引き、観光や経済、学術文化、国民間交流にとってもさらに大きなダメージとなっている。両国の硬直した関係を打開し、平和的、友好的、持続的関係に好転させていかなければならない。歴史的経緯を踏まえ、アジアのゲートウェイを自認する当該沖縄県の知事だからこそアクションを起こすべきではないか。知事の見解を聞く。

### 2 観光振興について

#### (1) 第5次観光振興計画について伺う。

- ア 目標フレームの根拠について
- イ 「10年間で対応すべき課題」について
- ウ 「多様なツーリズムの展開」について

#### (2) フライ&クルーズについて

9月定例会で「2011年より国内クルーズ会社による運航が始まった。2012年は合計8本が実施された。座間味、宮古、八重山、与那国へ寄港。離島地域への誘客につながっている」と答弁している。事業効果と可能性及び今後の展開について見解を伺う。

### 3 下地島空港及び周辺残地の利活用について

- (1) 日本航空との民事調停の経緯について伺う。
- (2) 初回の「下地島空港利活用検討協議会」において、利活用の方向性を見るための幾つかの検討項目が出され、基礎調査をすることとなったようだが、どのような作業方針で、どこまで調査が進んでいるのか見解を伺う。

### 4 エネルギー自給率の拡大に向けて

- (1) 「目標値の抜本見直し」に向けたエネルギービジョンアクションプランを検討しているようだがなぜか。目的と事業内容を聞く。
- (2) 小規模離島における100%再生可能エネルギー導入の工程表設定について見解を伺う。
- (3) 政府に対してこれまで納付した「電源開発促進税」の返還を要望していることについて見解を伺う。

(4) 学校施設等における消費電力を再生可能エネルギーで賄うことについて企画部長に伺う。

#### 5 県立病院事業局

(1) 「経営再建検証委員会」が「経営再建を実現した」とする報告書をまとめたとのマスコミ報道があった。これまで懸念されていた「今後も持続的経営改善が見込める」とのお墨つきを得ることとなった。病院事業局長と知事の見解を伺う。

(2) 慢性的な医師不足と医師育成に対応するため、中部病院を中心とした指導医師育成拠点づくり(人員と予算)について局長と知事に見解を伺う。

(3) 県立宮古病院の新築移転経緯と医師不足への対応経過について伺う。

#### 6 福祉保健行政

(1) 沖縄県における児童虐待問題の現状(相談・虐待・ホットライン等々)と県の対応及び課題について伺う。

#### 7 我が会派の代表質問との関連について

# 一般質問通告表

平成24年第8回沖縄県議会(定例会)

12月10日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	17分	新垣 清涼(県民ネット)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 基地行政について</p> <p>(1) 相次ぐ米軍人による事件について 夜間外出禁止や飲酒禁止等、次々出される綱紀肅正策の効果について伺う。</p> <p>(2) オスプレイの飛行訓練について 安全基準を守らない協定違反が続いているが、県の対応を問う。その結果、米軍は何を改善したか伺う。</p> <p>(3) 普天間の危険性除去について 日米両政府はどのように捉え、どう解決しようとしているのか伺う。</p> <p>(4) 枯れ葉剤について 県内保管についての実態や被害状況調査の進捗について伺う。</p> <p>(5) 米軍による宜野湾市民広場や市民駐車場の閉鎖について</p> <p>2 医療行政について</p> <p>(1) 県立病院の役割について</p> <p>(2) 救急車による患者の搬送について 昼間、夜間の件数、県立と民間での実態について伺う。</p> <p>(3) 救急車による救急患者の搬送先の決定状況について 県内と全国との比較について伺う。</p> <p>(4) 北部病院圏内や離島からの救急患者の搬送実績について伺う。</p> <p>3 福祉行政について</p> <p>(1) 少子化対策について県の取り組みとその成果を伺う。</p> <p>(2) 子育て支援について県の取り組みとその成果を伺う。</p> <p>4 環境行政について</p> <p>(1) 太陽光発電や風力発電等の普及率とその支援策について伺う。</p> <p>(2) 自然エネルギーの活用推進について取り組みを伺う。</p> <p>(3) 産業廃棄物の再資源化について取り組みと成果を伺う。</p> <p>5 交通安全対策について</p> <p>(1) 危険交差点の改良について取り組みを伺う。</p> <p>(2) 横断歩道の設置基準について伺う。</p> <p>6 観光行政について</p> <p>(1) 観光客誘客プロモーションについて 県、コンベンションビューロー、その他の取り組みについてその成果と課題を伺う。</p> <p>(2) 海外事務所の活動状況、体制についてその成果と課題を伺う。</p> <p>(3) 観光振興地域としての宜野湾西海岸地域の現状と課題について伺う。</p> <p>7 省庁等派遣研修事業について</p> <p>(1) 省庁や財団法人自治体国際化協会への県からの派遣実績について伺う。</p> <p>(2) 財団法人自治体国際化協会の活用について取り組みを伺う。</p> <p>8 我が会派の代表質問との関連について</p>			

# 一般質問通告表

平成24年第8回沖縄県議会(定例会)

12月10日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	17分	新田 宜明(社民・護憲)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 自治体外交について</p> <p>(1) 中国(中華人民共和国)に習近平総書記が誕生し、新体制ができた。福建省の省長経験者と言われる。沖縄と福建省はゆかりの地であり、民間外交、特に自治体外交によってきな臭い現状を打開するのに有効だと考える。知事は、中国の国家主席である習近平総書記と接見し、文化、教育、経済などの琉中交流促進を図ったらどうかと考えるが、知事の所見を伺う。</p> <p>(2) 去る11月22日に、琉球王朝時代の冊封料理が中国の研究者と料理人の手で初めて復元されたという報道があった。早速、知事は中国蘇州市を訪問し、この復元された冊封料理を沖縄で再現させ、琉球の食文化として活用したらどうか。知事の所見を伺う。</p> <p>(3) 国連機関で沖縄問題を訴える機会を模索したらどうか、知事の所見を伺う。</p> <p>2 公契約条例の制定について</p> <p>公共サービスを提供する自治体は、自治体が発注する事業によって、そこに働く労働者の生活権を守り保障すべきと考える。よって、以下の件についてたずぬ。</p> <p>(1) 公契約条例は、憲法、その他法令等に違反する条例と考えているのか見解を伺う。</p> <p>(2) 公契約条例で最低賃金を決めることは、最低賃金法に違反すると考えているのか伺う。</p> <p>(3) 公契約条例は自治体の条例制定権を逸脱しないものと理解しているが、見解を伺う。</p> <p>(4) 公契約条例は「最少の経費で最大の効果」を上げる地方自治法149条の2項の原則に反しないと考えるが、見解を伺う。</p> <p>(5) 公契約条例の施行によって財政負担がふえると考えているのか、見解を伺う。</p> <p>3 福祉施策について</p> <p>(1) 政府が進めている「生活支援戦略」の制度趣旨はどのような内容か伺う。</p> <p>(2) 県の福祉施策との関連では、政府が進めている「生活支援戦略」をどのように位置づける考えか伺う。</p> <p>4 台風16、17号に対する農業共済金の支払い額を品目ごとに伺う。</p> <p>5 交通安全対策について</p> <p>(1) 県内自治体からの信号機設置申請の状況と既設置済み、今後の対応について伺う。</p> <p>(2) 道路新設時に信号機設置を同時にすべきではないか、見解を伺う。</p> <p>6 我が会派の代表質問との関連について</p>			

# 一般質問通告表

平成24年第8回沖縄県議会(定例会)

12月10日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	17分	瑞慶覧 功(県民ネット)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 日米両政府による危険なオスプレイの強行配備は沖縄県民の命、安全を軽視する行為である。見解を伺う。</p> <p>(2) 不平等な日米地位協定の抜本的見直しを行おうとしないのは、日本政府による沖縄差別である。見解を伺う。</p> <p>(3) 21世紀ビジョンの実現は、日本安保条約に縛られている間は絵に描いた餅とにならないか見解を伺う。</p> <p>2 基地問題について</p> <p>(1) 日米地位協定の抜本的見直しについて</p> <p>ア 平成12年8月に県が要請した11項目について政府の回答内容と見解を伺う。</p> <p>イ 要請後、改善が行われた項目について伺う。</p> <p>ウ 県が平成15年に行った「全国行動プラン」による取り組みの成果と見解を伺う。</p> <p>(2) オスプレイの日米合同委員会で合意した安全確保策の合意違反の実態と見解を伺う。</p> <p>3 文化・観光・スポーツ行政について</p> <p>(1) 沖縄から海外への観光客数の現状を伺う。</p> <p>(2) 沖縄と台湾との経済・文化・スポーツ等、交流の現状を伺う。</p> <p>(3) 台湾から日本への修学旅行先の現状と見解を伺う。</p> <p>(4) 尖閣問題以降の中国、台湾等からの観光客数の動向と対策を伺う。</p> <p>(5) 年間の観光バスの需要と供給の現状と不足時の対策を伺う。</p> <p>4 防災行政について</p> <p>(1) 防災的見地から、津波から身を守るにはどれだけの高さに避難する必要があるか見解を伺う。</p> <p>(2) 県内の有人島のうち、津波時の避難場所がない島の現状はどうなっているか伺う。</p> <p>(3) 避難場所のない離島に早急に展望台等兼用の建物をつくるべきではないか見解を伺う。</p> <p>5 沖縄県組織ビジョン(案)について</p> <p>(1) 組織ビジョン(案)作成に至る概要と経緯を伺う。</p> <p>(2) 組織ビジョンにおいて示す、目指すべき組織像の概要を伺う。</p> <p>(3) 職員採用の見直しで高卒及び大卒の採用割合、並びに採用職種を見直すとしているが、現行とどう変わるのか伺う。</p> <p>6 公安行政について</p> <p>(1) 米軍基地外の県警と米軍による共同巡回について見解を伺う。</p> <p>(2) 2011年の中学生刑法犯全国一の概要と対策を伺う。</p> <p>7 教育行政について</p> <p>(1) 2011年の中学生刑法犯全国一の原因と対策を伺う。</p> <p>8 我が会派の代表質問との関連について</p>			